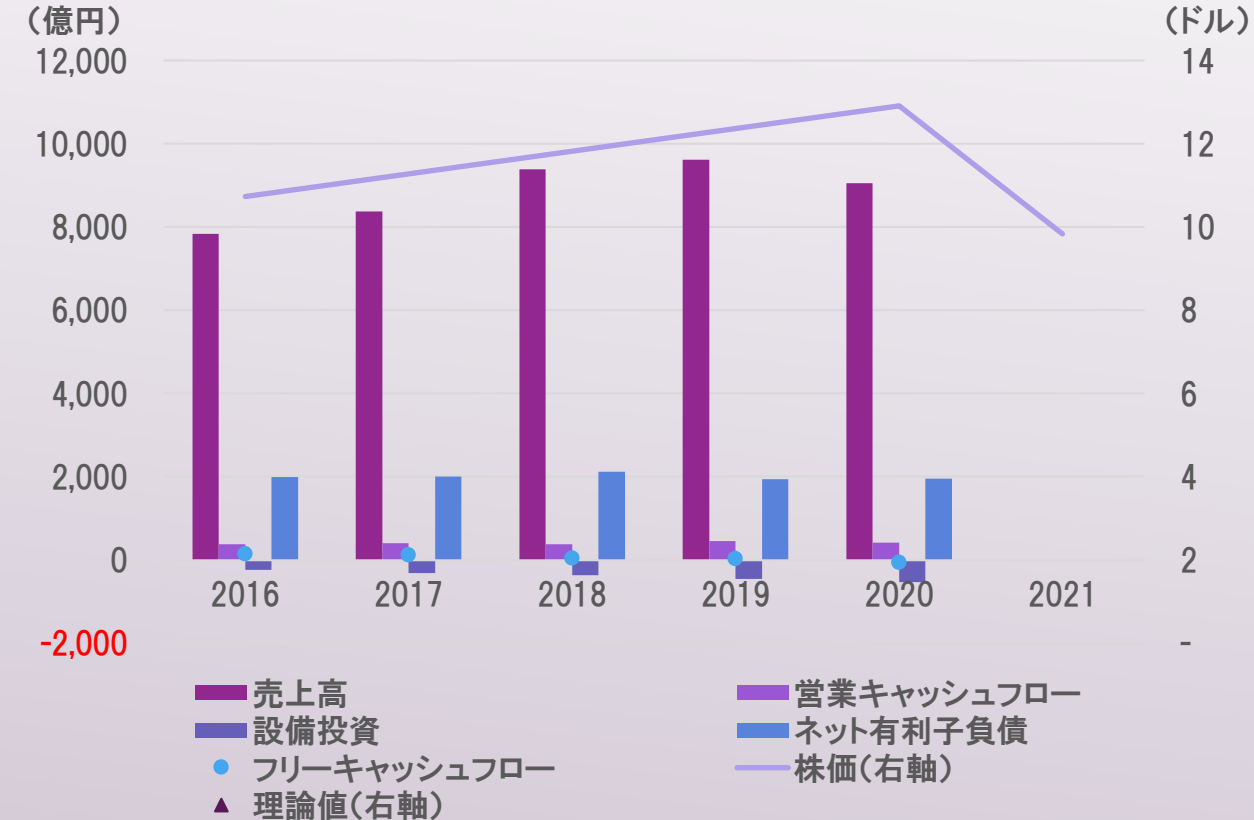


古河電工株式会社

古河電工株式会社は、送電インフラ事業および機能材料事業の事業展開を行っている。インフラストラクチャ、エレクトロニクスおよび自動車システム、機能製品、サービスおよび開発のセグメントを通じて運営されている。インフラセグメントは、光ファイバー、光ファイバーケーブル、光関連部品、光半導体デバイス、金属通信ケーブル、光ファイバー融着接続機、ネットワーク機器、CATVシステム、ワイヤレス製品の電源ケーブルを製造および販売している。エレクトロニクスおよび自動車システム部門は、自動車部品、自動車および産業用バッテリー、銅線およびアルミニウム線、加工された電子部品、機能表面製品、超電導および特殊金属材料を提供している。機能部品事業では、ケーブル配管材、水道管材、半導体製品に使用されるテープ、電子部品、ハードディスク用アルミ基板、電解銅箔などを提供している。サービスおよび開発セグメントには、物流、情報処理サービス、ソフトウェア開発、不動産リース、水力発電、新製品の研究開発が含まれる。同社は1884年に設立され、本社は日本の東京にある。



※2020年の数字は既発表の四半期業績を単純に12か月換算したもの。
 ※理論値は過去の一株当たり利益と株価の関係を今期の予想一株当たり利益に適用して算出。

M&A

日付	時間	ニュース
2020/05/20	-	高分子硫酸鉄(PFS)市場のグローバル調査および化学調査レポート2020
2020/05/20	-	バックグラインドテープ市場2020 -サイズ、ステータス、機会、将来の展望2026
2020/05/20	-	2020年から2026年までの新しいトレンド、範囲、および需要予測を備えたエアプラグバスウェイ市場 シーメンス、GE、イートン、LSケーブル、UEC、Huapeng Group
2020/05/19	-	住友電工と古河電工の前期、最終4割減益 4~6月は「需要半減」も
2020/05/19	-	光増幅器市場2019テクノロジーの進歩と将来の展望- Optilab, LLC, Connet Laser Technology Co., Ltd, Nuphoton Technologies
2020/05/17	-	鳥羽の神島へ新送水管 老朽化で41年ぶり
2020/05/13	-	「潮騒」の島に水よ届け 41年ぶり、新たな海底送水管

N評: N
 フリーキャッシュフローは売上高の-0.6%とマイナスであるため最低評価。株価は下落しており10ドル。